

医療情報標準化指針提案申請書(新規・更新・追加・廃止)

申請受付番号	HS016	事務局受付日	2011年3月8日	申請日	2011年3月8日
提案申請団体名 ・責任者名	一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会 標準化推進部会 部会長 貴田 武実		規格作成団体名 ・責任者名	一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会 標準化推進部会 部会長 貴田 武実	
提案規格案名 (版数)	和名	JAHIS 放射線データ交換規約			
	英名	The JAHIS Protocol for Radiology Data Communication			
提案規格案の目的、概要(提案規格案策定経緯及び決定プロセス)	和文	病院情報システム(HIS)と放射線情報システム間(RIS)、放射線情報システム(RIS)と医用画像保管通信システム(PACS)間、放射線情報システム(RIS)とレポートシステム間で発生する患者情報通知や放射線検査依頼に関する、HL7 Ver2.x に基づいて開発されたデータ交換規約である。なお、医用画像保管通信システム(PACS)やレポートシステムから放射線情報システム(RIS)への状態通知や、モダリティとの通信は対象にしていない。			
	英文	It describes communication procedures for radiology data based on HL7 2.x protocol which are interchanged among hospital information systems (HIS), radiology information systems (RIS), picture archiving and communication systems (PACS), and reporting systems (REPORT). But it does not describe communication procedures among modalities and RIS, also particular direction from PACS or REPORT to RIS.			
提案規格案の申請理由、適用領域、使用方法					
(1)申請理由:「JAHIS放射線データ交換規約」の最新バージョンを登録するための申請である。 (2)適用領域:医療機関内の放射線検査に関わるデータ交換(目的、概要に示す範囲) (3)使用方法:放射線検査に関する、患者情報、依頼情報、患者到着情報、検査実施情報のデータ交換に使用する。					
関連他標準との関係(相違点及重複点の取り扱い方)					
(1)HL7V2.x標準を用いる他のJAHIS標準類、JJ1017、IHE-RADIOLOGYとの関連あり。 (2)関連団体として、日本HL7協会、日本IHE協会、日本画像医療システム工業会、Health Level Seven International					
提案規格案の関連情報	メンテナンスの方法(バージョン管理も含む) JAHIS医療システム部会相互運用性委員会にて、 規程に基づいて3年以内に改廃の再検討を行い、必要に応じて改訂する。				
	入手資格 特になし。				
	入手方法 JAHISホームページから入手。				
	有効期限 特に期限設定なし。				
	価格等 無償				
	知的所有権:なし 著作権:JAHIS				
	添付資料 なし				
実務運用上の連絡者	・須藤 精 ・TEL:03-3506-8010 ・FAX:03-3506-8070 ・E-mail:sudou@jahis.jp				
特記事項	http://www.jahis.jp/jahis_hyojyun/seiteizumi_hyojyun/ (JAHIS標準類)				

※更新・追加・廃止の時は、以下の一項を選択し、旧規格名(和名)を記載する。	
指針の更新・改廃の場合の旧規格との関係	新規開発するシステムについては最新バージョンの適用が望ましいが、お客様のシステム環境に合わせて最適のバージョンを選択する。
更新時の新旧の相違点	※バックワードコンパティビリティについても記入してください。 バックワードコンパティビリティはなし。 JAHISホームページに掲載している「放射線データ交換規約」の各バージョンを参照のこと。

※申請した指針は、毎年5月末までに見直しをお願いします。

事務局から問い合わせが行きますので、必要に応じて更新などの手続きをお願いします。

(2009.05.19 改版)